



部活動の「地域移行」が抱えている課題について

地域の受け皿と指導者

地域の受け皿には、主に民間のスポーツクラブや各種法人、競技団体、スポーツ少年団、保護者会等が想定されていますが、請け負うことが可能なスポーツクラブがないとか、請け負うのには負担が大きすぎて難しい、活動するグラウンドや施設が整っていないなどの課題があります。また指導者においても、例えばバドミントンの指導者はいるけど、バスケットボールの指導者がいないなど種目ごとに状況がそれぞれ違うことが考えられます。様々な競技の指導者を確保していくことは簡単なことではありません。

それに加えて、これまでの部活動を担ってきた学校の先生方と同じように、技術指導に加えて、生徒の安全や心身の健康に配慮しながら、適切な態度や言葉で指導にあたることは、想像以上に難しいことだと思います。障害の防止はもちろん、暴言や体罰、ハラスメントなどが発生しないよう、生徒の健全育成を図っていく手立てや仕組みが必要になります。勝利至上主義に陥らないことも非常に大切です。

家庭の負担

これまで部活動の多くは、顧問の先生方の献身的な支えにより活動がなされてきました。しかし、これを民間のクラブ等に委託する場合、指導者への指導料の負担はどうするのかという問題が生じます。スポーツクラブの会費や施設使用料も同様です。学校部活動では発生していなかった様々な部分での負担がかかってくることとなります。また、複数の中学校の生徒が、学校とは別の施設で活動する場合は、活動場所への送迎はどうするのかなども課題になります。

こうした家庭への負担、特に困窮する家庭の支援策について、国も検討を進めているところですが、まだ具体的なものは示されていません。地域移行を進めていくにあたっては、どんな支援をどれくらい盛り込めるかが今後重要だと思っています。

大会の在り方

地域移行を進めるにあたって、日本中学校体育連盟は全国中学校体育大会に、一定の条件を満たす地域のスポーツクラブが出場できることを承認しました。それを受けて、長崎県、長崎市中体連でも参加制限の見直しを行いました。その結果、例えば長与町の3つの町立中学校で構成された地域移行のクラブチームが、県大会で長崎市代表の〇〇中学校（単独校）と対戦するという形が出てくることになりました。学校単位で競技するという形だけでなく、もともとスポーツ自体を楽しみ、学校の先生だけではなく、地域の大人の方と関わりながら成長していくという形も増えてくると思います。また、これからは、これまで以上に地域で子どもたちを育てるという視点が重要になってきます。

【担当連絡先】

長崎市教育委員会健康教育課
保健体育係 三谷
TEL 095-829-1197
FAX 095-829-2066

※長崎県中体連HPに「令和5年度長崎県中学校総合体育大会 地域クラブ活動の参加資格の特例各競技細則大会参加規程」が示されています。<https://www.nagasaki-chutairen.jp>